

2017

ANNUAL REPORT

WE OFFER MANY GOOD THINGS TO ELDERLY,  
TO OUR FUTURE GENERATIONS, AS WELL AS TO OUR LOCAL COMMUNITY NEIGHBOURS.  
社会福祉法人 伸こう福祉会 アニュアルレポート [2017年4月]

SHINKO

FUKUSHIKAI  
SOCIAL WELFARE CORPORATION

## SHINKO FUKUSHI KAI ANNUAL REPORT 2017

## 目次

理事長メッセージ ...P3

私たちの理念 ...P4

ハイライト:中期計画II期【「地域」との協働】

品質方針「外に出よう」...P6

伸こう福祉会の事業 ...P12

保育 次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援...P14

地域の窓口 地域の福祉・保健に関するよろず相談所...P16

高齢者介護 ご自宅にしながら利用できるサービス...P18

高齢者介護 「暮らし」を提供するサービス...P20

DATA...P22

CSRに基づく伸こう福祉会の取り組み ...P27

働きやすい職場環境を目指して...P28

伸こう福祉会らしい「人」を育てる...P29

企業市民として、身近なところから...P30

公正が保たれる仕組みをつくる...P31

サービスづくりはお客さまとともに...P32

私たちは、地域の中の「資源」...P33

メディア掲載一覧 ...P34

外部主催の講演会・コンテストでの発表 ...P35

財務ハイライト ...P36

施設一覧 ...P38

ご寄付のお願い ...P47

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題（右図）の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。主題と報告事項との関連については、P27～32をご参照下さい。

MESSAGE  
FROM EXECUTIVE HEAD2017年、障害と共に生きる子ども、  
大人、そして高齢者を支える  
新たな事業をつくります。

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催があと3年後に迫ってまいりました。この「世紀のイベント」は、わが国に様々な意味で、「変革」をもたらすと私は考えております。

オリンピックを控え、最近では日本のあらゆる場所で海外からの観光客を見かけるようになりました。

外国からのお客さまは、日本の美しい四季折々の風景を映像にとらえ、繊細かつ美しい伝統工芸に驚き、食事を楽しみ、そして私たちの日常では多くの「あたりまえ」である多くのことを「素晴らしい」と褒めて下さいます。そんな外国の方々視点から、改めて私たちは自分たちの「よいところ」に気づき、同時に足りない部分を知ることができます。私たちの法人も例外ではなく、昨年は大変多くの海外からの訪問者をお迎え致しました。

日本人の持ち味であり、また福祉現場の特徴ともいえる「真面目さ」「清潔」「勤勉」「協調」は、そういったゲストの皆さまに高く評価していただき、逆に「個の尊重」「自立支援」などの面では、日本のケアにはまだまだ課題が残ることを知りました。

パラリンピックの開催によって、日本は「真のバリアフリー社会」に向かいます。障害や病と共に生きながら、自分の持つ能力を限界まで鍛え、挑戦しつづけるアスリートたちや、その挑戦を支える家族や支援者の姿と出会うことで、私たちは国が提唱している「一億総活躍社会」が決して絵空事ではないことを知ります。

そんな時代において、伸こう福祉会は2017年度、障害と共に生きる子ども、大人、そして高齢者を支える新たな事業をつくります。

かかわる人々が「人生とはよきもの」と感じられる場所となる…そんな大きな夢をかなえるべく、始まる私たちの挑戦に、どうぞふたたび皆さまのお力をお貸し下さい。

社会福祉法人 伸こう福祉会  
理事長

足野 聖子

# PRINCIPLE

## たくさんのよきものを人生の先輩たち、 後輩たち、そして地域に捧ぐ

私たちは、「保育」と「介護」という仕事を通じて、  
お客さまの人生の「最初」と「最後」の  
お手伝いをさせていただいています。  
2016年度は、新たに障害を持った方への  
お手伝いも始めました。

「自分が選んだ場所で、社会とともに成長をし、  
自分が選んだ最後を迎えられる」こと。  
それが、私たちが考える「しあわせ(福祉)」であり、  
私たちができるお手伝いの目指すところです。

「たくさんのよきもの」を、私たちに関わって下さる皆さまに捧げることで、  
その方がより「しあわせ(福祉)」な生活を送れるように。  
そんな思いの中で取り組んだ、  
2016年度の活動をご報告致します。



中期計画Ⅱ期 「地域」との協働

# 外に出よう

## 品質方針

### LET'S GO OUTSIDE

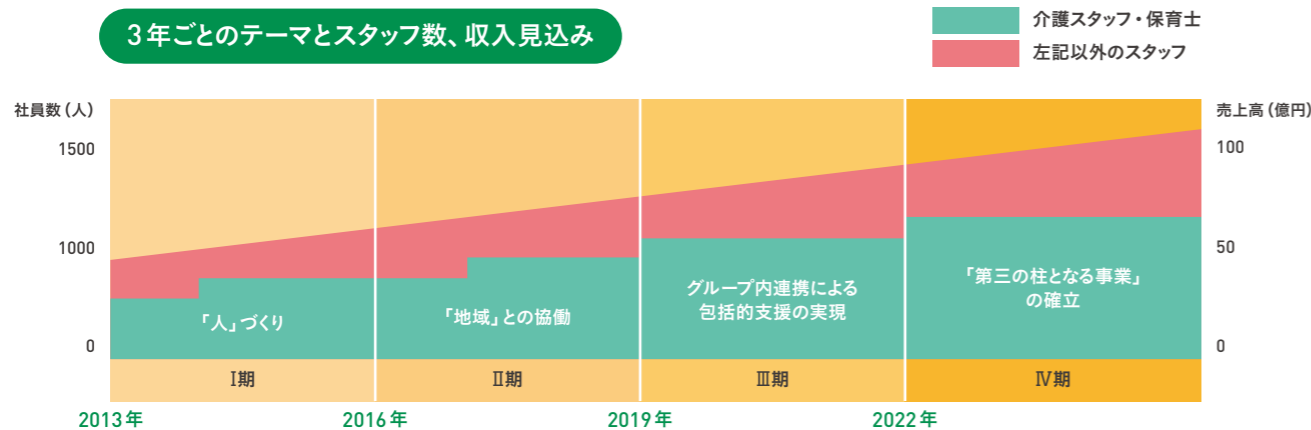
迫る「2025年問題」を見据え、伸こう福祉会では2013年に中期計画を策定しました。

I期のテーマであった【「人」づくり(スタッフの育成)】を土台に、2016年度から始まるⅡ期で重点的に取り組んでいくのは、【「地域」との協働】です。

当たり前ではあるのですが、お客さまも、スタッフも、「地域」の中で暮らしています。

今一度初心に戻り、来期に繋がる足掛かりをつくった一年でした。

3年ごとのテーマとスタッフ数、収入見込み



1

「経営計画書」を用いて方針を共有する

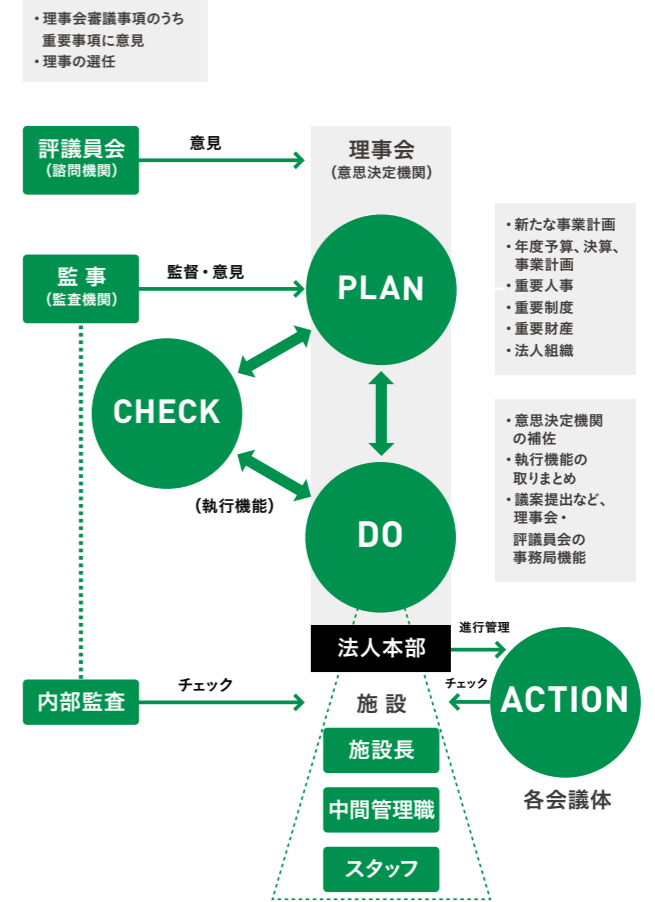
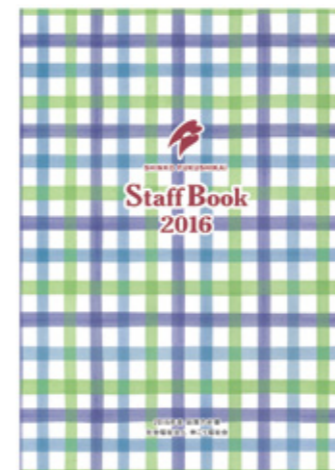
毎年度、法人の理念や守るべき約束、今期の実行計画や予算を記した「経営計画書」を作成しています。経営計画書(Plan)を基に、サービスを実行し(Do)、監査によるチェック(Check)の上、各会議体において、サービスの改善に励んでいます(Action)。本レポートは、「第19期 経営計画書」に基づき報告を行うものです。

2

「品質方針」の明確化と伝達

基本理念を実践するための方針をまとめた冊子「2016年度 品質方針書『Staff Book 2016』」を制作し、常勤・非常勤を問わず全スタッフに配布しました。本書には、その年度に重点的に取り組む品質方針や、伸こう福祉会のスタッフとして必ず守ってもらいたいこと、業務の基準などが記されています。

中期計画テーマ【「地域」との協働】の初年度である2016年度の品質方針は、「外に出よう」です。スタッフ自らが「外に出て」地域の情報を集め、お客さまを「外に連れ出して」地域との繋がりを体験する。今年度、「とにかくまず一歩外に出てみる」ことで体感したことを、次年度では明確にし、仕組みとしてつくっていきます。



## 「外に出よう」

### 何をすべきか? 5つの例

- 1 外(地域)とつながろう
- 2 施設の外(研修)に出て学ぼう
- 3 ご利用者様も一緒に施設の外に出よう
- 4 外(世界中)から、より良いケアになることを取り入れよう
- 5 外(福祉以外の業界)に出よう

中期計画Ⅱ期「地域」との協働

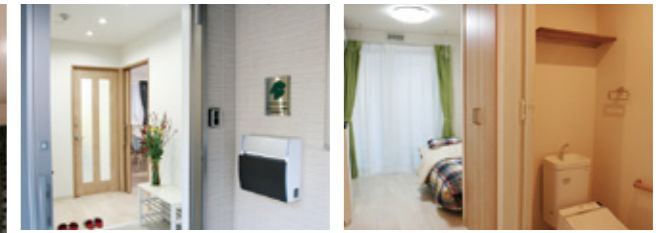
# 外に出よう

品質方針

LET'S GO OUTSIDE

## 組織としても、「外に出よう」

2016年度は、「伸こう福祉会」としても「外」に出た一年でした。これまでの「高齢者介護」事業、「保育」事業の枠組みの外に出て、「障害者支援」事業に取り組んだこと。日本国内から外に出て、海外が持つ「よきもの」を集めるネットワークを構築したこと。これらの新しい取り組みは既存の事業にも良い影響を与え、相互に関連しながら、社会福祉法人としてより社会的使命を果たすために力を入れられる体制になりました。



### クロスハートハイツ東蒔田

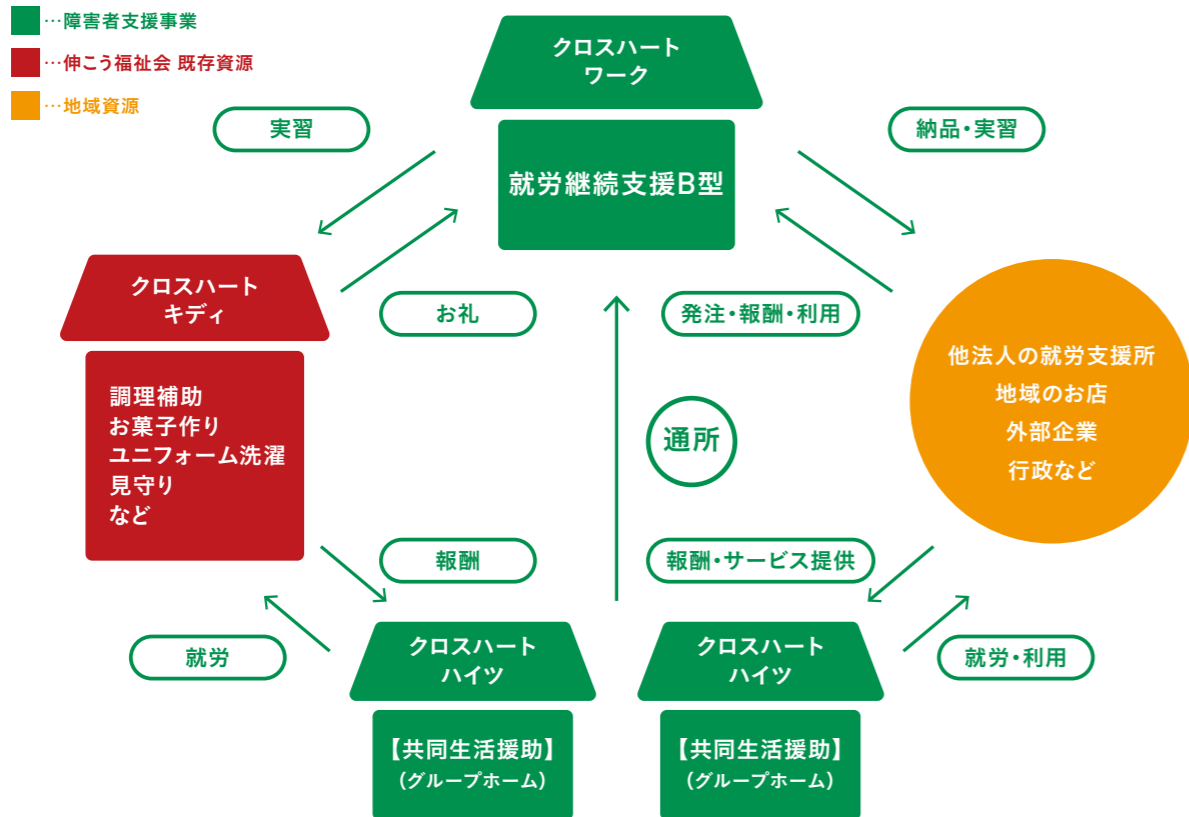
「生まれ育った地域で暮らすこと」、「一人一人の主体的な暮らしを実現すること」を目的に、世話人・生活支援員等と共に、掃除や洗濯、料理などを行いながら共同生活を送ります。また、ハイツを拠点に、日中は就労に出かけます。

#### 施設概要

事業形態／共同生活援助(グループホーム)  
対象年齢／学校卒業～  
定員／10名 開所日／2017年3月

## 3 障害者支援事業の開始

地域内の既存の法人資源を活用し、生産・供給・消費を一貫して行うことで、障害児・者へ多種多様な居場所を提供します。「障害をもつ子どもやその親御さんが、地域で安心して最後まで暮らせるお手伝い」をコンセプトに、高齢の親が老人ホームに入居し、障害を持つ子どもがそこへ就労に行けるような、親子で安心できる包括的な支援を目指します。



### クロスハートワーク公田(仮称)

障害により企業に雇用されることが困難な方へ、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う場です。

#### 施設概要

事業形態／就労継続支援B型申請予定  
対象年齢／学校卒業～ 定員／20名～  
開所日／2016年10月  
(ユニフォームの洗濯事業として開始)

中期計画II期「地域」との協働

# 外に出よう

品質方針

LET'S GO OUTSIDE

## 4 海外への事業展開

伸こう福祉会では、本部機能に「国際担当」を設け、積極的に海外から「よきもの」を取り入れ、日本の「よきもの」を提供していくための取り組みを行っています。



### オーストラリア CHARLTON BROWN®との連携

先述のCHARLTON BROWN®より、毎年、学生がボランティアとして伸こう福祉会の高齢者施設や保育園を訪れてくれています。オーストラリアならではのアクティビティの披露を通じ、日本の高齢者や子どもたち、伸こう福祉会のスタッフとも交流を広げています。



### 台湾 亜州大学との連携

友好協定を結んだ台湾の亜州大学の招きを受け、理事長が同大学の国際会議で講演。そのご縁で、大学教授や看護師、介護事業者など、専門家14名が、日本の介護教育を学ぶために来日し、施設見学のほか日本の介護保険制度等の講義、実技ワークショップを組み合わせた研修を受講されました。今後、1ヶ月におよぶ亜州大学学生の介護実習受入れなど、交流を進めます。



### 中国 CBCとの連携

中国企業CBCが運営する老人ホームからの要請により「クロスハートの介護」を伝えるために、伸こう福祉会スタッフが中国南京へ出向しました。3ヶ月の出向期間でマニュアル作成、実技の指導を行った結果、継続した支援の要望を受け、今後、第2期の出向が予定されています。



### アメリカ The Encorepreneur Cafeとの連携

「働くこと」をテーマにしたデイサービスを行うThe Encorepreneur Cafeが、2017年3月、ポートランドにオープンしました。Cafeを利用するアメリカの高齢者と日本の高齢者が交流できる仕組みをつくり、互いに学びあえる機会を提供できることを目指します。

### 海外からの視察の受け入れ状況

#### 視察

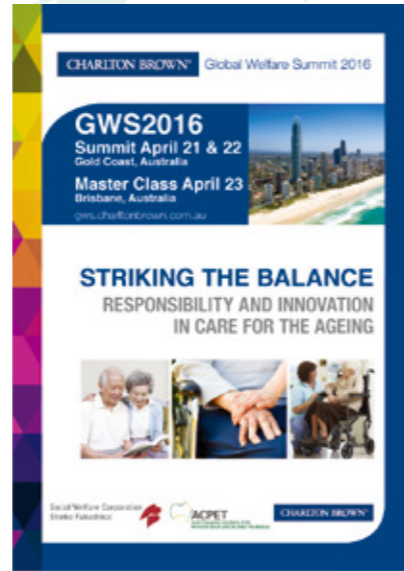
国名	人数
中国	137
台湾	39
韓国	10
フィンランド	10
スロベニア	9
シンガポール	11
ドイツ	2
オーストラリア	2
合計	220 (昨年度 129)

#### 研修

国名	期間	人数
台湾	2ヶ月	4
オーストラリア	1週間	4
フィリピン	1日×3回	60
合計	-	68

### Global Welfare Summit 2016をオーストラリアで開催

2013年に横浜で開催した伸こう福祉会主催の「Global Welfare Summit」。海外各国の福祉の第一人者が集った本会では、国境を越えた「GWSネットワーク」が構築され、今後各国で開催していくことになりました。第2回はオーストラリアに拠点を置く福祉の専門学校 CHARLTON BROWN®主催により、2016年4月にゴールドコーストで開催。伸こう福祉会からもスタッフ15名が豪に渡り、海外からの学びを得ました。第3回は3年後に韓国で開催される予定です。このネットワークを世界各国に構築し、参加国同士が互いに学び合い、問題解決への糸口を探っていける場にしていきたいと思っています。



### 「世界経済フォーラム年次総会2017(ダボス会議)」に理事長足立聖子が出席

世界経済フォーラム(World Economic Forum)より招聘を受け、理事長の足立聖子が2017年1月17日～20日にスイスのダボス・クロスターズで開催される「世界経済フォーラム年次総会2017」に参加しました。フォーラムに先立ち開かれた社会起業家の討議において、現在進めている、高齢者や障害者を介護スタッフとして雇うことで、誰もがいきいき働ける社会の実現を目指していることを報告。アメリカやイギリスの参加者から賛同が得られ、将来における、アクティビシニアの活躍の必要性が議論されました。





# 保育

次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援

年々深刻化する「保育士不足」。  
待機児童問題解消に向け、2016年4月に新園を開園しましたが、  
保育現場へ従事を希望する絶対数の減少を実感しています。  
伸こう福祉会では、今いる保育士が力をつけ、よりその実力を発揮  
できるよう、今期は人材育成に注力しました。



## 2017 TOPICS

### 「クラス担当者カレッジ」を実施

保育園には、年齢毎にクラス担任がいます。1クラスに適切な保育士数が配置され、園長や主任・他クラス担任と協力し保育を行っています。子どもの発達や成長は著しく、一歳の年齢差でその度合いは大きく変わります。  
伸こう福祉会の保育事業では、複数の園を運営している点を活かし、園を横断して同年齢クラスの担当者が情報交換し、発達過程に応じた保育内容を学ぶ「クラス担当者カレッジ」を実施しました。



# 伸こう福祉会の 保育事業



## 認可保育所

仕事や病気などの理由で家庭において十分保育することができない0歳～小学校就学前の子どもを、保護者にかわって保育する施設です。市から設置認可を受けており、入園に関する諸々の手続きは各市が行います。

## 認可外保育所

**川崎認定保育園**  
待機児童の解消を図るとともに、認可保育所では対応できないご利用者の多様な保育ニーズにも応えるため、川崎市が定めた一定の基準を満たした保育施設として認定された保育園です。保育を必要とする子どもが、保育所保育指針に基づく良好な保育を受けることを目的とした園である点では、認可保育所との違いはありません。

## その他の子育て支援

各地域のニーズに合わせて、以下の事業を行っています。

### 地域子育て支援拠点事業

横浜市補助事業の「親と子のつどいの広場」として、保護者の育児にかかる心身の負担軽減及び子どもの健やかな育ちのために、親子で気軽につどい、同じような不安や悩みを持つ仲間と交流・団らんで居場所を提供しながら、地域の子育て力の向上を図っています。

### 延長保育事業

全認可保育所において、保護者の就労等の理由により、通常の利用時間以外の時間に保育が必要な時に、保育を行っています。

### 休日保育事業

一部の認可保育所内において、日曜日又は休日に保護者の就労等の理由により、家庭での保育が難しい児童の保育を行っています。

### 病後児保育事業

一部の認可保育所内において、病後(病気の回復期)が理由で集団保育が困難であり、かつ家庭での保育が困難な子どもを、看護師等が一時的に保育等を実施しています。

### 一時預かり事業

一部の認可保育所内において、家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かり、一時的に保育を行っています。



## 事業所内保育所

一部の高齢者施設において、子育て中のスタッフの支援を行う「事業所内保育所」を設けています。専任の保育士がおり、幼い子どもがいても育児と仕事の両立を図れるよう支援しています。



# 地域の窓口

地域の福祉・保健に関するよろず相談所

一般的に、福祉は「困った時に使うもの」と考えられています。しかし、いざ「困った」時には、まず何をすれば良いのか、どこにいけば良いのか、わからないものです。伸こう福祉会では、そんな方への「道しるべ」となるよろず相談所を設けている他、「困る前」から福祉を身近に感じてもらえるよう、積極的に発信を行っています。



## 地域ケアプラザ

横浜市独自の施設「地域ケアプラザ」の特長は、地域住民の自主的な活動の推進や福祉・保健に関する各種講座の開講などの「地域活動・交流」機能と、福祉・保健の相談窓口としての「地域包括支援センター」機能、ケアマネジャーが介護保険の利用調整を行う「居宅介護支援」機能が一つの建物に含まれ、連携しやすい点にあります。これにより、地域に住む方が「活動」のついでにちょっとしたことを「相談」したり、個々に持ち掛けられた「相談」を地域の課題として捉え、地域全体で取り組む「活動」として働きかけていくことができます。

地域ケアプラザには「地域交流活動コーディネーター」「生活支援コーディネーター」「保健師又は看護師」「社会福祉士」「主任ケアマネジャー」「ケアマネジャー」等の専門職が配置され、「所長」が統括しながら、各機能を総合的に提供しています。

具体的には、以下のようなサービスを実施しています。

**福祉保健活動を行う場所として、多目的ホール、地域ケアルーム、調理室などを提供**  
(介護予防の活動、子育てサークル、障害児の余暇支援活動、茶話会、ボランティア活動など)

**活動に関わる人材の育成発掘、研修の実施などにより地域の活動をサポート**

**子どもから障害・高齢者まで分野を問わず気軽に立ち寄れる「地域のよろず相談所」として相談受付**

**地域の様々な立場の人や団体を巻き込みながら、互助・共助の関係性を築くためのまちづくりの推進**

**ヘルパー利用や施設入所などの介護保険の利用調整**  
(居宅介護支援事業)



## 伸こう福祉会独自の 地域の窓口

### 伸こう福祉会 介護総合案内所

交通量・通行量の多い場所に、誰もが気軽に立ち寄れる「総合案内所」を設け、介護・福祉に関するあらゆる相談に応じています。「困っているけれど、どこに相談してよいかわからない」方への道しるべとしてご利用いただきながら、地域に潜在する新たなニーズを掘り起こし、地域貢献への一歩となるよう取り組んでいます。

## 2017 TOPICS

### ひとりで仕事を抱えてしまいがちな地域ケアプラザ専門職の 連携強化のために「施設見学ツアー」を実施

伸こう福祉会の利点は、介護・保育に関する様々な福祉事業を運営していること。地域の方の多様な相談に応じるためには、多様な現場を知らなくてはなりません。専門職は地域ケアプラザに限らず、法人内にたくさんいます。視野を広げること、専門性を深めることを同時に行うため、法人内のネットワークを活かし、「施設見学ツアー」を実施しました。



# 高齢者介護

## ご自宅にしながら利用できるサービス

ご自宅での生活を継続しながら利用できる、伸こう福祉会が提供している高齢者介護サービスを紹介します。担当のケアマネジャーが以下のサービス及び伸こう福祉会が提供していない他のサービスを組み合わせた計画を立て（「小規模多機能型居宅介護サービス」「看護小規模多機能型居宅介護サービス」は単独）、ありたい暮らしを実現できるよう、各所で連携しながら支援します。



## ご自宅に伺うサービス

### 訪問介護サービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、食事・トイレ・入浴などの身体的な支援や、掃除・洗濯・料理・買い物などの生活上の支援をします。日々のコミュニケーションを通じて、ご利用者ご本人も気付かない体調や精神的な変化に気付けるよう努めています。

### 訪問看護サービス

看護師がご自宅にお伺いし、病状や療養生活を専門家の目で見守り、その人らしいご自宅での暮らしが継続できるよう支援します。医療機器をつけた方や緊急の場合にも対応します。

## 施設に短時間通う・短期間泊まるサービス

### デイサービス

施設に短時間通うサービスです。趣味活動を通して社会交流の機会を広げることで生活の中に活気や意欲を取り戻せるよう援助したり、筋力低下を防ぐために運動の機会を増やしたりしながら、ご自宅での生活を継続できるよう支援します。食事や入浴、ご自宅から施設までの送迎を行っています。

### ショートステイサービス

施設に短期間お泊りすることで、ご自宅にこもりがちなお利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご利用者とご家族がそれぞれの生活を楽しむことができるよう支援します。

## 2017 TOPICS

### ご利用者による音楽・絵画の発表会を開催

「楽しく」「成果を実感でき」「好きなことを通して人と人とが繋がる」プログラムを実践し、「行くと明るく元気になる」と言われるデイサービスになることを目標に、専門家を講師に迎え、「音楽」「アート」を柱にしたプログラムを実施してきました。ご利用者の皆さまは、3月末に行われるステージ・展覧会を目指して、各々の作品に磨きをかけてこられました。



## 「訪問」「通い」「宿泊」を組み合わせたサービス

### 小規模多機能型居宅介護サービス

ご利用者やご家族の選択・必要性に応じ、スタッフがご自宅に伺ったり、施設内でサービスを提供したり、泊まっていたりするサービスです。すべて一つの事業所で行われるため、ご利用者同士やスタッフと馴染みの関係を築け、柔軟な対応が可能となります。

### 看護小規模多機能型居宅介護サービス

「小規模多機能型居宅介護サービス」の内容に、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができます。

## 2017 TOPICS

### 「地域」での生活を大切に

「小規模多機能型居宅介護サービス」は、介護保険上、「地域密着型サービス」に分類されます。地域密着型サービスは、名前の通り、ご利用者が住み慣れた「地域」での生活を続けるために支援するサービスです。地域で生活をするには、ご利用者への支援だけでなく、地域に積極的に働きかけ、ご利用者と地域をつなげること、地域全体の「福祉力」を向上させる必要があります。事業所を拠点とした地域交流が生まれるよう、イベントなどを通じた発信を行ってきた一年でした。



販売・受付・会計をご利用者と共に行った「十二所まつり」

# 高齢者介護

「暮らし」を提供するサービス

「生活の拠点」として住まい、「楽しくきれいにいつまでも」暮らしを続けられるよう、サービスを行います。  
 伸こう福祉会では、ご利用者やご家族が病院での治療を望まず、ここを「最後の住まい」として選んで下さったときは、ホームでお看取りケアをさせていただきます。



## 特別養護老人ホーム

病気や障害が原因で常に介護を必要とする方にお住まいいただき、介護スタッフや栄養士、看護師等の専門職が連携し、ご自宅での生活では難しかった健康管理や清潔の維持を支援することでご利用者の心身の状態を安定させられるよう努めます。また、安定したことで生まれるご利用者の意欲を大切に、社会交流や外出の機会をつくります。

**ご入居要件** 要介護3以上でかつ、ご自宅で適切な介護を受けることが困難な方

### 2017 TOPICS

#### いつまでも口から美味しく召し上がっていただくために

「クロスハート幸・川崎」は、開所当初から「口から食べることにこだわり続け、医師や歯科医に協力を仰ぎ、介護スタッフ、ケアマネジャー、看護師、管理栄養士、理学療法士などが連携し食事環境の向上に努めてきました。多職種が連携することで、食事内容はもちろんのこと、座位・姿勢、口腔の衛生状態、食事を楽しみと感ずる雰囲気づくりなど、それぞれの専門性の角度から食を捉えることができています。今後も、チームで一丸となって「誤嚥性肺炎ゼロ」、「より長くご自身で食事をしていただく」ことを目標に取り組んでいきます。



## 高齢者グループホーム

家庭に近い少人数の落ち着いた環境の中で、認知症の方が個人の生活と共同生活を共存させながら可能な限り自立した生活を送れるよう、支援します。ホームが閉鎖的にならないよう、地域の方と一緒にイベントを行ったり、地域の催し物に参加したりなど、外出することを心がけています。

**ご入居要件** 医師から認知症の診断が下りている方でかつ、要支援2以上でかつ、事業所のある市内に住所がある方

### 2017 TOPICS

#### 入院日数を減少させることができました

生活施設である以上、ご利用者の年齢は年々上がります。高齢になるにつれ病気や事故のリスクは高まりますが、より長くお元気でお過ごしいただきたいと、スタッフが病気や事故の「予防」となる対応ができるよう社内勉強会や外部研修会参加を奨励しました。今年度、目標値を「前年度よりも入院日数を減少させる」と定め取り組んだ結果、右の通り、減少させることができました。

11ホーム合計の入院日数(1ヶ月平均)

2015年度 103日



2016年度 78日

## 介護付き有料老人ホーム

お元気な方から、重度の介護を必要とされる方まで、安心して暮らせる「家」づくりにこだわり、一人ひとりの自由な暮らしをお手伝いします。自宅では難しくても、ホームに移り住むことによって、若い時から持っていた「社会的役割」や「身体機能」が維持できるように、様々なイベントやプログラムを一緒につくっていきます。

**ご入居要件** おおむね65歳以上の方

### 2017 TOPICS

#### 地域と共に行うイベントの実施

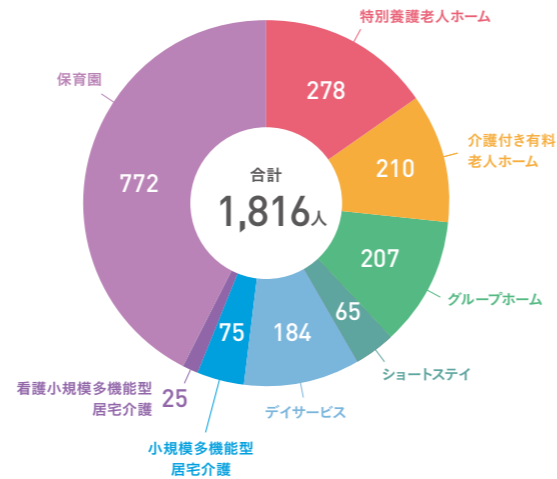
地域の有識者や芸術活動を行う方などにホームにお越しいただき、ホームで暮らしながらも趣味や学びの活動の機会が得られるよう取り組みました。また、近隣の小学生・保育園の園児・スタッフの子どもが集まる会を開催し、核家族化が進みお年寄りと接する機会が少ない子どもたちへ「おじいちゃん・おばあちゃん」としての知識や経験値をお借りするイベントを行いました。



※特記事項が無い場合は、2016年12月末日時点の数字

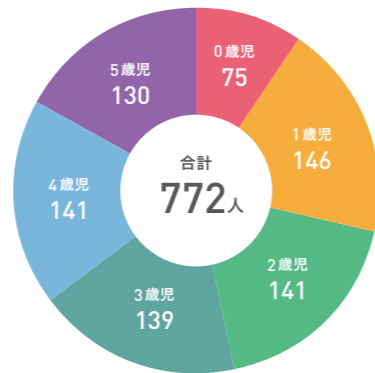
事業毎のご利用者定員数

	(人)
特別養護老人ホーム	278
介護付き有料老人ホーム	210
グループホーム	207
ショートステイ	65
デイサービス	184
小規模多機能型居宅介護	75
看護小規模多機能型居宅介護	25
保育園	772

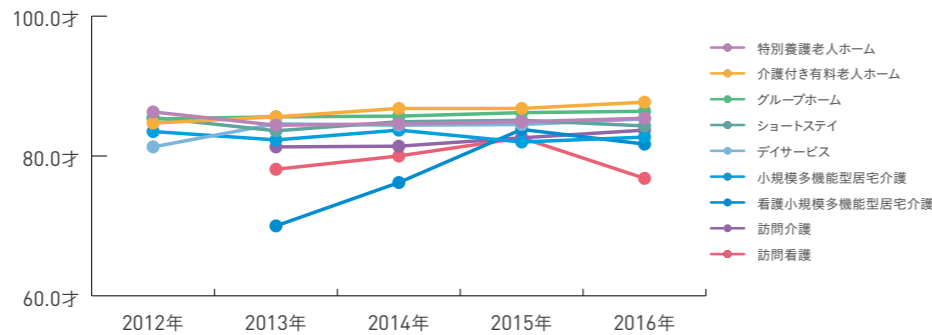


保育事業 年齢割合

	(人)
0歳児	75
1歳児	146
2歳児	141
3歳児	139
4歳児	141
5歳児	130
全体	772



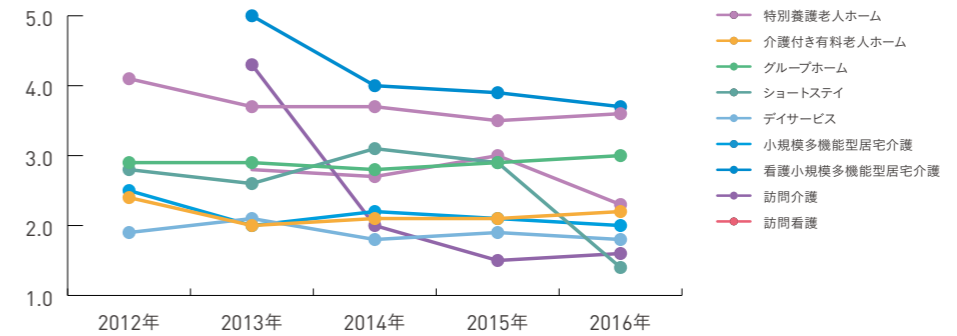
介護事業 平均年齢



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
特別養護老人ホーム	86.3	84.4	84.6	84.9	85.4
介護付き有料老人ホーム	84.7	85.6	86.8	86.8	87.7
グループホーム	85.3	85.6	85.7	86.2	86.4
ショートステイ	85.5	83.6	84.9	85.1	84.3
デイサービス	81.3	84.6	84.4	84.5	85.3
小規模多機能型居宅介護	83.5	82.3	83.7	82.0	82.7
看護小規模多機能型居宅介護		70.0	76.2	83.8	81.7
訪問介護		81.3	81.4	82.6	83.7
訪問看護		78.1	80.0	82.6	76.8

(才)

介護事業 平均要介護度



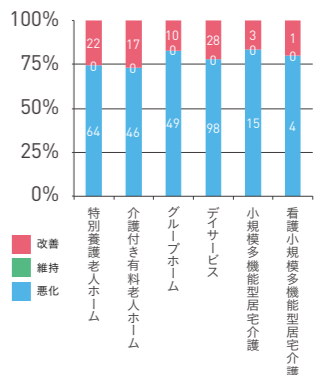
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
特別養護老人ホーム	4.1	3.7	3.7	3.5	3.6
介護付き有料老人ホーム	2.4	2.0	2.1	2.1	2.2
グループホーム	2.9	2.9	2.8	2.9	3.0
ショートステイ	2.8	2.6	3.1	2.9	1.4
デイサービス	1.9	2.1	1.8	1.9	1.8
小規模多機能型居宅介護	2.5	2.0	2.2	2.1	2.0
看護小規模多機能型居宅介護		5.0	4.0	3.9	3.7
訪問介護		4.3	2.0	1.5	1.6
訪問看護		2.8	2.7	3.0	2.3

介護事業 全ご利用者数における認知症の診断が下りている方の割合 / 要介護度の変化

特別養護老人ホーム	71.9%
介護付き有料老人ホーム	30.0%
グループホーム	100.0%
デイサービス	20.9%
小規模多機能型居宅介護	66.7%
看護小規模多機能型居宅介護	50.0%
訪問介護	10.7%
訪問看護	42.9%

	改善	維持	悪化
特別養護老人ホーム	22	0	64
介護付き有料老人ホーム	17	0	46
グループホーム	10	0	49
デイサービス	28	0	98
小規模多機能型居宅介護	3	0	15
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	4

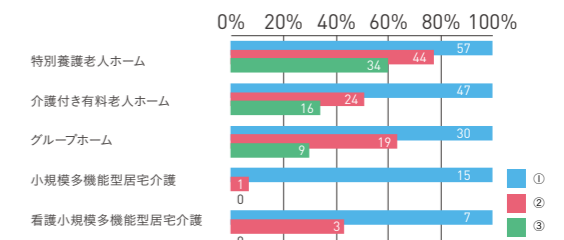
※2016年1月1日～2016年12月31日に区分変更をした方の中で、要介護度が下がった方を「改善」、変わらなかった方を「維持」、上がった方を「悪化」としています。



介護事業 看取りケアをさせていただいたご利用者数

今年度中にご退去・ご利用中止されたご利用者数(①) ①の内、理由が「ご逝去」のご利用者数(②) ②の内、事業所内で看取りケアをさせていただいたご利用者数(③)

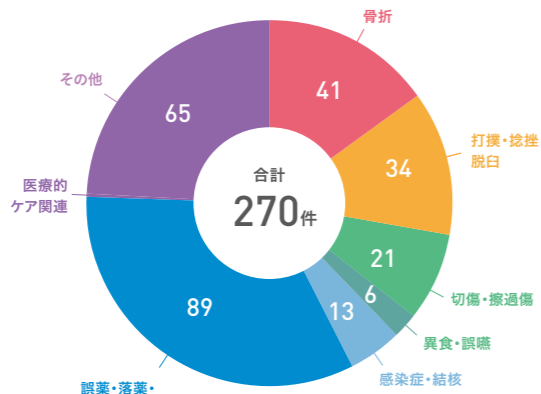
	①	②	③
特別養護老人ホーム	57	44	34
介護付き有料老人ホーム	47	24	16
グループホーム	30	19	9
小規模多機能型居宅介護	15	1	0
看護小規模多機能型居宅介護	7	3	0



### 事故報告件数

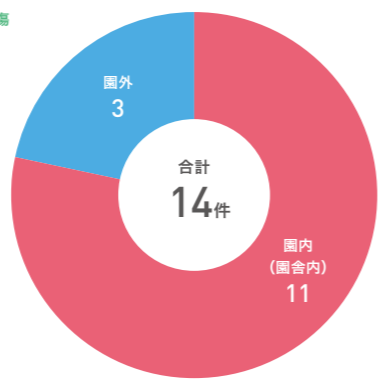
介護事業  
行政報告をした事故の種類・件数

(件)	
骨折	41
打撲・捻挫・脱臼	34
切傷・擦過傷	21
やけど	0
異食・誤嚥	6
食中毒	0
感染症・結核	13
職員の不祥事	0
誤薬・落薬・与薬もれ	89
医療的ケア関連	1
その他	65
合計	270



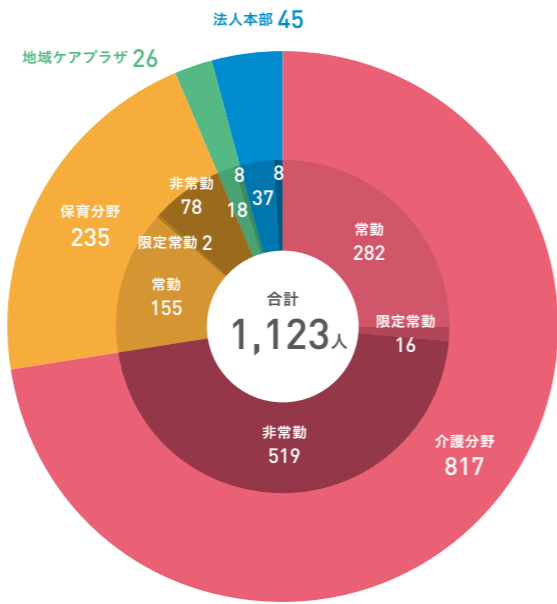
保育事業 法人加入の  
「日本スポーツ振興センター」  
に申請した件数

(件)	
園内(園舎内)	11
園内(園舎外)	0
園外	3
合計	14



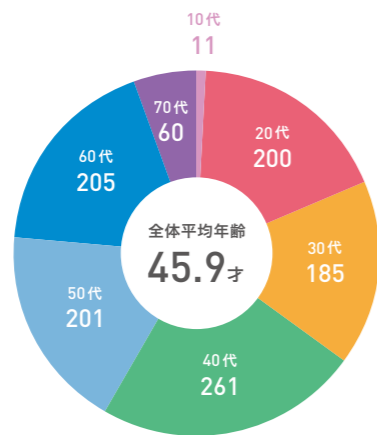
### 分野毎のスタッフ人数

(人)		(人)	
介護分野	817	地域ケアプラザ	26
常勤	282	常勤	18
限定常勤	16	限定常勤	0
非常勤	519	非常勤	8
保育分野	235	法人本部	45
常勤	155	常勤	37
限定常勤	2	限定常勤	0
非常勤	78	非常勤	8
合計	1123		



### スタッフの年齢割合

(人)	
10代	11
20代	200
30代	185
40代	261
50代	201
60代	205
70代	60
80代	0

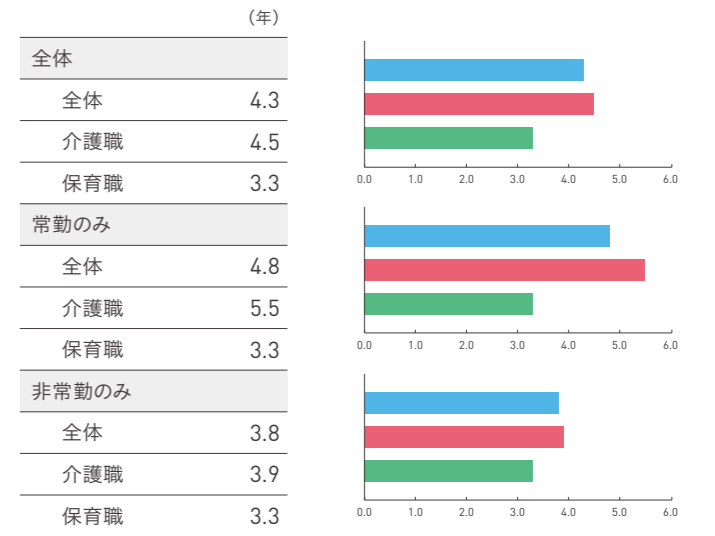


介護分野平均年齢 48.0才  
保育分野平均年齢 45.9才

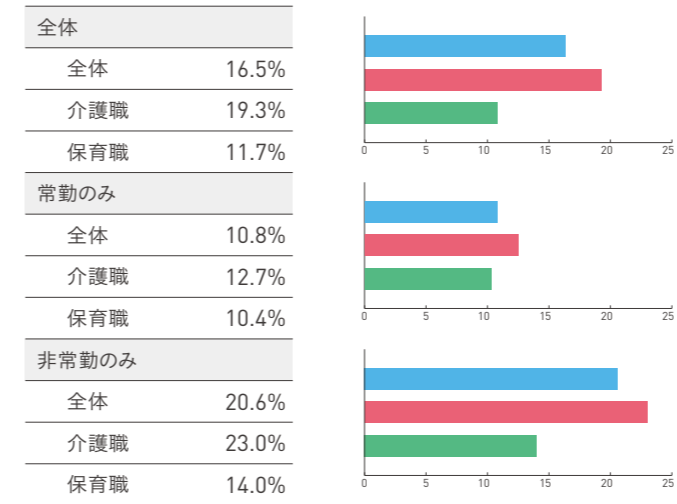
### 主な資格所有者人数

(人)		(人)	
介護福祉士	221	管理栄養士	9
保育士	187	保健師	3
介護支援専門員	84	柔道整復師	3
看護師(准看護師含む)	83	歯科衛生士	2
社会福祉士	17	理学療法士	2
栄養士	17	精神保健福祉士	1
調理師	15		

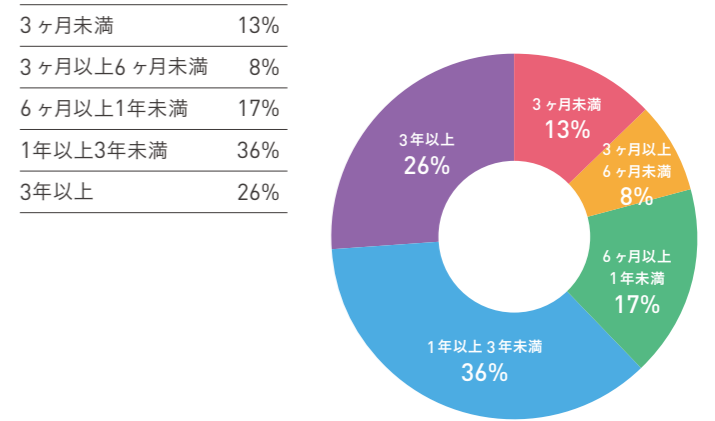
### 平均勤続年数



### 2016年1月～12月 離職率



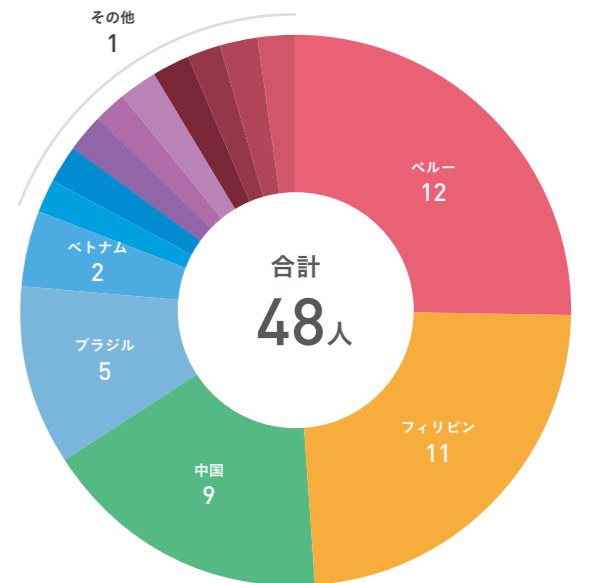
### 2016年1月～12月 退職者の勤務年数別の割合



### 外国籍スタッフの国別人数

(人)		(人)	
ペルー	12	韓国	1
フィリピン	11	ギニア	1
中国	9	スウェーデン	1
ブラジル	5	タイ	1
ベトナム	2	バングラディッシュ	1
アルゼンチン	1	ベネズエラ	1
イギリス	1	ミャンマー	1
合計	48	合計	48

(14ヶ国)



### 障害者手帳を持ったスタッフ人数

30人

## ボランティアにお越しいただいている人数

	団体	個人
事業所にお越しいただいているボランティア	35	58
地域ケアプラザ登録ボランティア	60	185

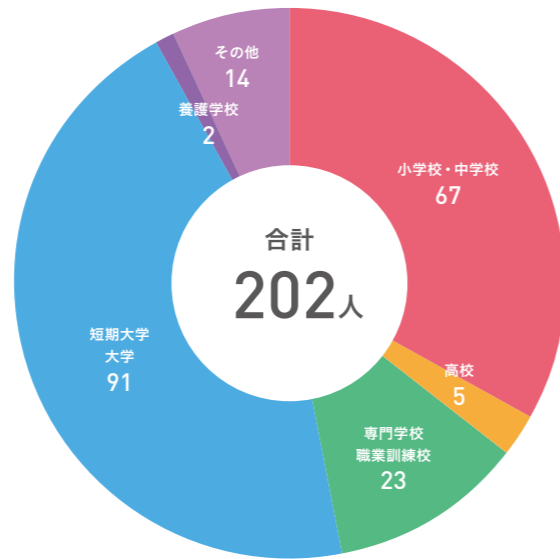
## ボランティアが主導となって開催して下さったイベント件数

	介護事業	保育事業
歌の会・演奏会	450	65
朗読会	46	482
体操・ダンス	172	68
もの作り	268	6
その他	229	49

(件)

## 実習生の受け入れ人数

	(人)
小学校・中学校	67
高校	5
専門学校・職業訓練校	23
短期大学・大学	91
養護学校	2
その他	14
合計	202



## 見学者人数

	介護事業	保育事業
ご利用検討者又はご家族	5930	972
入職検討者	133	44
イベント以外の地域の方	80	126
その他	78	70

(人)

## 地域に向けたイベント件数

	介護事業	保育事業
勉強会・講演会	35	23
映画鑑賞会・音楽演奏会	44	2
フェスティバル・パーティー	38	15
カルチャースクール	39	0
食事会	72	3
世代間交流	24	12
その他	18	25

(件)

## 地域で開催されたイベントへのご利用者の参加

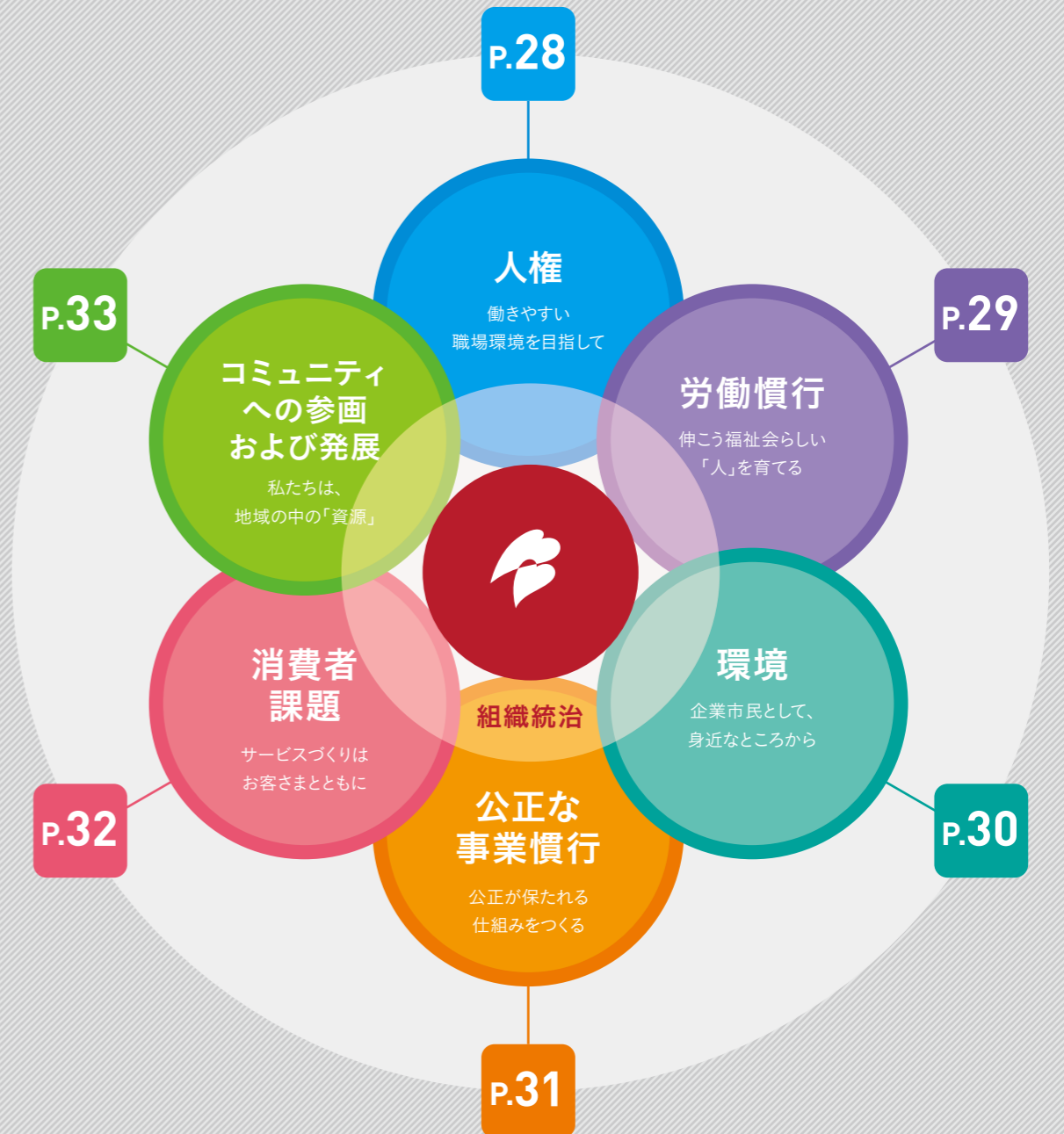
	(件)	内容
介護事業	86	保育園訪問、地域のお祭りへ、地域清掃など
保育事業	36	小学校訪問、地域のお祭り、移動動物園、人形劇、駅伝など

# CSR 伸こう福祉会の取り組み

に基づく (CSR=Corporate social responsibility: 企業の社会的責任)

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility: CSR)に対する社会の要請は、年々高まっています。そこで伸こう福祉会では、体系的でかつ国際標準に則したCSR活動に向けて、国際標準化機構のISO26000に基づき課題を整理して実行に移し、本レポートやホームページ、マスコミ、講演等を通じ、ステークホルダーの皆さまへ積極的に情報開示しています。また、「社会福祉法人」である伸こう福祉会にとっては、良質なサービスを1人でも多くのサービスが必要とする方へ届けることそのものが「社会的責任」でもあります。今後もサービスを量・質共に拡充し、積極的に社会の要請に応えていきたいと思っております。

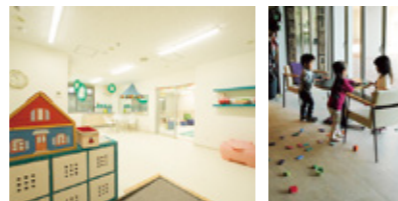
### ISO26000 7つの中核主題



## 働きやすい職場環境を目指して

### 就労環境の整備

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける就労環境を目指し、国で決められている産休・育休や有休制度の他、様々な取り組みを行っています。



事業所内保育室	幼い子どもがいても育児と仕事の両立を図ることができるよう、川崎市と藤沢市の一部の事業所において、スタッフ向けの保育室を設けています。また、事業所内保育室が無い事業所においても、子どもを連れて出勤することができます。
限定常勤制度	能力がありながら、勤務地域や時間帯に制限があり常勤スタッフとして働けない方へ、「地域限定常勤」「時間帯限定常勤」の雇用形態を設けています。賞与に差を持たせていますが、基本給与は常勤スタッフと変わりません。
クロスハートバカンス	常勤スタッフは、年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できます。

### 働きにくさを抱えた方の雇用と定着

伸こう福祉会では、働きにくさを抱えた方も含めた人材の多様性を推進しています。本部機能に支援する担当者を設けている他、施設長や主任をはじめとした管理職がきめ細かくサポートし、「誰もが介護や子育て、病気などで柔軟な働き方が必要な時がある」という、困った時はお互いさまの組織風土づくりを目指しています。働きにくさの特性に応じ仕事内容や勤務時間を調整しているため、給与の差は設けていません。能力によっては、常勤として働くスタッフも多数います。

高齢者の雇用	満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用しています。
障害を持つ方の雇用	本部機能に担当者を設け、相談支援を行っています。
外国籍の方の雇用	本部機能に担当者を設け、相談支援を行っています。
難民の方の雇用	難民認定申請中の求職者を積極的に受け入れています。
スタッフホットライン	直属の上長に伝えづらい相談を24時間365日受けられる電話窓口を設けています。

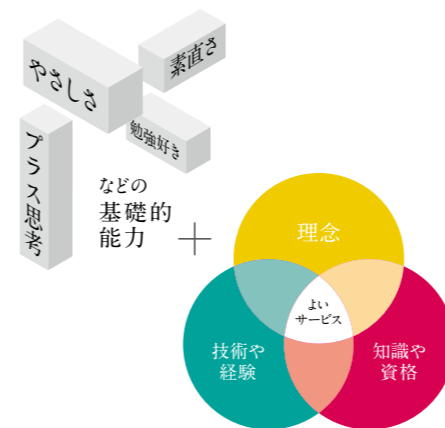
### 法人全体の連携強化

「One Family」を意識し、施設間を越えた交流ができるよう、経営チームがホストとなり、月に1度スタッフのパーズデー遠足を行いました。また、職場とは違う環境の中で事業や役職の垣根を超えて一つのものに取り組みうと、第2回となるスタッフ向けの運動会「SKF感謝祭」を開催し、407名が参加しました。



## 伸こう福祉会らしい「人」を育てる

### 2016年度研修体系



伸こう福祉会では、「やさしさ」、「素直さ」、「勉強好き」、「プラス思考」等の「基礎的能力」を持ち合わせるスタッフが、法人の「理念」や仕事をしながら習得する「技術や経験」、専門職としての「知識や資格」を身に付けていくことにより、より良いサービスを提供できると考えています。そのため、面接時には入社後では教育が難しい「基礎的能力」の確認に重点を置き、入社時の研修や全スタッフが一年に一度受講する研修で繰り返し「理念」を伝え、入社期間・役職に応じた総合的な研修や各施設でのOJTで「技術や経験」を重ね、専門職毎の研修や資格取得をサポートする研修で「知識や資格」が得られるよう取り組んでいます。また、それらが実際に理解され、身につけているかを確認するために、介護福祉士や保育士の試験問題を参考にして作成した「知識テスト」を行っています。

階層	研修内容		
内定者	○中途入職者	○新卒入職者	
	<p><b>入社手続き</b> 法人規定や勤務上の規則について理解する。</p> <p><b>入社時オリエンテーション</b> 施設見学及び入社後の業務や注意事項等について理解する。</p>	<p><b>内定者ガイダンス</b> 入社に向けた準備及び先輩や同期スタッフとの懇親を深める。</p> <p><b>入社前オリエンテーション</b> 法人に対する理解やビジネスマナー・コミュニケーション研修及び法人の基本理念を学ぶ。</p>	
新入職スタッフ	○中途入職者	○新卒入職者	
	<p><b>新入職カレッジI</b> 法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める。</p> <p><b>新入職カレッジII</b> 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術を習得する。</p>	<p><b>新卒カレッジ</b> (介護・保育共通) 社会人として必要な知識や対人援助職としておさえておくべき必要なテーマを学ぶ。 (介護) 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術の習得。職業倫理を学ぶ。 (保育) 保育士として必要な知識や経験を、OJTとして実際の現場で学ぶ。</p>	
一般スタッフ	施設内カレッジ・OJT 施設内スタッフのスキルアップや品質向上を目指す。	資格取得サポート 資格取得を目指した知識・技術の習得。モチベーションの向上及びサービス品質の向上を図る。(本年度の主な内容) 初任者研修、喀痰吸引研修	
リーダー・主任			<b>リーダーカレッジ</b> リーダー職に向け、専門性の向上及びマネジメント技術向上を目指す。
施設長			<b>施設長カレッジ</b> 品質向上やマネジメント技術向上及び戦略経営を目指す。
全スタッフカレッジ			法人の理念・品質方針を共有し、サービスの品質向上を目指す。
<p><b>オープンカレッジ</b> 受講者をスタッフに限定せず、地域や他社の方など多くの方へ学びの機会を提供する。</p>			

専門分野の知識向上や職種間での交流により相談し合える関係を築く。  
(本年度の主な内容) 看護師、介護支援専門員、管理栄養士等が主体となっていく勉強会

## 企業市民として、身近なところから

### 地域のクリーン活動



伸こう福祉会の多くの施設がある湘南地域は、鎌倉や江の島など豊富な観光資源を有し、「東京都内から1時間で行ける砂浜も岩浜もある海」として人気のスポットです。その海を守り次世代まで残すことを目的に、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発・海岸清掃ボランティアの支援を行う「公益財団法人 かながわ海岸美化財団」が設立され、伸こう福祉会も2014年からビーチクリーン活動を推進するメンバーに加わりました。2016年には、同財団より保育園「キディ鶴沼・藤沢」と「キディ湘南C-X」に、海岸美化への貢献に対して感謝状と記念品として活動地域の「片瀬海岸」の砂で作られた砂時計が贈られました。

保育事業では、ISO14001(環境マネジメントシステムに関する国際規格)の認証を取得している園もあり、日々の保育の中でも環境問題を意識した教育に取り組んでいます。大人になっても記憶に残るような活動を心掛け、食事や菜園づくり、清掃活動等の「体験」を通して自然の大切さを学べる機会を多く設けています。

また、「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」では、月に1回、地域清掃の日を決め、施設近隣地域の清掃(草むしり、枝きり、ゴミ拾い等)を行っています。「人生の後輩たち」に美しい環境を残すため、これからも積極的にクリーン活動に取り組んでいきます。



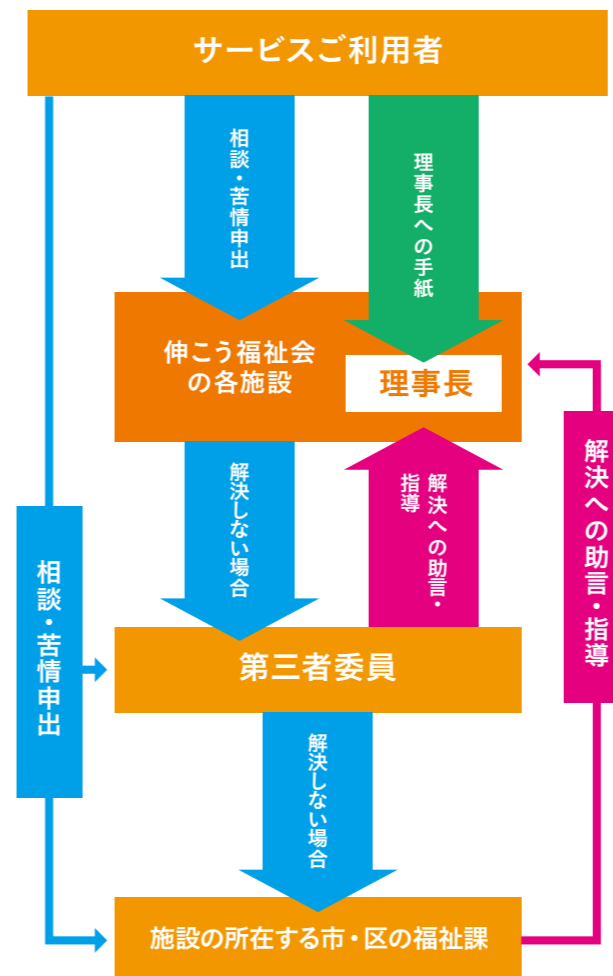
### 横浜市の消防大会へ出場



2016年9月14日、災害に備えて事業所の従業員たちによって構成されている自衛消防隊組織の技術を競い合う「栄区自衛消防隊技術訓練会」(主催:栄区自衛消防連絡協議会)に「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」のスタッフが参加しました。本大会には

横浜市栄区内の企業や事業所から合計16隊、50人以上が参加され、4部門に分かれて消火器やホースによる消火技術を競い合いました。クロスハート栄・横浜の隊員たちは、「屋内消火栓操法I」部門において最優秀隊に選ばれ、同年10月19日、栄区代表として「横浜市消防操法技術訓練会」に出場しました。

## 公正が保たれる仕組みをつくる



### お客様の声を運営に活かすために

社会福祉事業の提供者は、「提供する福祉サービスについての苦情」の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に定められています。そのため、各事業所において、「苦情解決責任者」「苦情受付責任者」を選任している以外に、各事業所には直接言い出しにくいご意見をいただく窓口として、法人外の方に「第三者委員」を担っていただき、各連絡先を事業所内に掲示しています。

また、独自の取り組みとして、事業所を越えて理事長宛にダイレクトに伝えたいことを投函できる「理事長への手紙」ボックスを各所に備えています。ボックスの中身は、月に一度外部委託先が回収し、理事長の元へ届けます。「お客様の声」は、私たちにとって、そして福祉制度にとって、サービスをより良くするための一番の薬だと考えています。

### ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、介護事業の各施設で、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。今期は2016年2月7・8日にサーベイランス(定期審査)が行われました。

### 公正・公平な取引の徹底

日々のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、様々なビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたいと考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム要求事項」に即して作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵守した公正・公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品については、品質レベルを評価・確認し、最長1年毎に継続を検討しています。



理事長への手紙ボックス



## サービスづくりはお客さまとともに

## ご家族が運営主体となり施設と関わる「家族の会クロス」

「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」には、現在または過去にご利用いただいた方のご家族が主体となり、会員同士の親睦・知識向上・相互扶助を目的として設立された会「家族の会クロス」があります。本会は、年に一度行う「報告会(総会)」を始め、年2回の意見交換会、横浜市社会福祉協議会の福祉バスを利用した「バスハイク」、「クロスハートフェスティバル」(クロスハート栄・横浜で行うお祭り)への出展参加、ご利用者の織い物など、様々な場面で活躍して下さっています。

## 最後の時間をお過ごしいただく

伸こう福祉会の介護施設では、ご家族が病院での治療を望まず、最後の時間を施設で過ごすことをご希望された時、ターミナルケアをさせていただきます。医療機関ではないので、介護はできても治療はできません。施設でできること、病院でできないことを何度もご家族と話し合い、同意書を交わします。終末期のご利用者やご家族は、スタッフに様々な学びを与えて下さいます。私たちはそれを真摯に受け止め、「クロスハートでの最後の時間」を選んで下さったご利用者やご家族に感謝をしつつ、お手伝いをさせていただきます。

介護付き有料老人ホーム「クロスハート石名坂・藤沢」でお看取りさせていただいたA様の娘様よりお手紙を頂きました。

## 足立聖子理事長様

今、私の心は、妹と共にクロスハート石名坂の皆様へ感謝の気持ちで満ちています。

母は、2016年11月18日(金)の朝、施設長さん、ケアマネジャーさん、看護師さんに看取られて本当に安らかに息を引き取りました。私達は不思議な程、穏やかな心で神さまのみもとへ母を送る事が出来ました。

2015年1月に大腸ガンの手術を受けた母は2016年7月に再発、もう手術は不可能でした。昨年のパーティーで偶然にも理事長様とお話する機会を得て、母の最期を御相談した折、「ずっと慣れ親しまれた所から送られた方が良いですよ」と話して下さったこと、胸にしまっていました。

母は、クロスハートに辿り着くまでの半年間をいくつかの施設のショートステイを転々とし(させてしまった)、やっと穏やかに落ち着いて日々送れる終の住み家として自分で受け入れたクロスハート石名坂です。私はスタッフの皆様が大変な思いをなさる事を承知の上で、クロスハートで母を看取って下さるよう主治医の先生、看護師さん、ケアマネジャーさん、そして施設長さんに伝えました。

内心、これで良かったのか不安でした。けれど、皆様の母や私達家族に対する対応は、それぞれの専門分野で、そしてそれを越えて、お会いする度に私の不安を取り除いて下さいました。心細やかな御配慮、速やかで的確な決断で、心身ともにずっと母に寄り添って下さいました。母と距離を置くことしか術を知らなかった私が、クロスハートで日々を送るうちに穏やかになっていった母と、笑顔で会えるようになり、二人にとって良い時間を過ごせ、母に沢山の「ごめんなさい」と「ありがとう」を伝える事が出来ました。

母が昇天する前日の夕方「私は帰るけれどスタッフの皆さんがいつもそばにいて下さるから安心していてね。楽しい事を考えていてね」と耳元で伝えると優しく目を開けてOKサインをくれました。

お一人お一人が主役である利用者の方々に、明るく、飾らず、真摯に向き合って下さるクロスハートの皆様にとのように感謝の言葉を伝えて良いかわからず、手紙を書かせて頂きました。スタッフの皆様どうぞ、「ありがとうございます」とお伝え下さい。お願いします。



## 私たちは、地域の中の「資源」

## 福祉施設は地域のコミュニティスペース

伸こう福祉会では、地域の方に普段あまり足を踏み入れることのない福祉施設をもっと身近に感じてもらうと同時に、施設を地域のコミュニティスペースとして活用していただくために、様々な仕掛けをしています。



## 特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」、他

日常的に地域の方が自由に入出りできる「カフェコーナー」や「図書コーナー」を広く設けています。



## 介護付き有料老人ホーム「クロスハート湘南台二番館」、他

約100名を動員できる「クロスハートホール」や小グループで集える「集会所」を地域に開放しています。



## グループホーム「クロスハート二階堂・鎌倉」

駅やバス停まで遠く、喫茶店や公園などの休憩スペースが無い住宅街の中にあるグループホームの庭に、地域の方のたまり場として使用いただきたいと今年度新たにテラスを設置しました。



## 認可保育園「キディ鶴沼・藤沢」

保育園の一部を一般開放し、地域の子育て家庭の悩み相談や親子同士の相互交流ができるよう、子育て広場「キディひろば」を行っています。

## 復興庁 被災者支援総合事業「心の復興」事業の開催



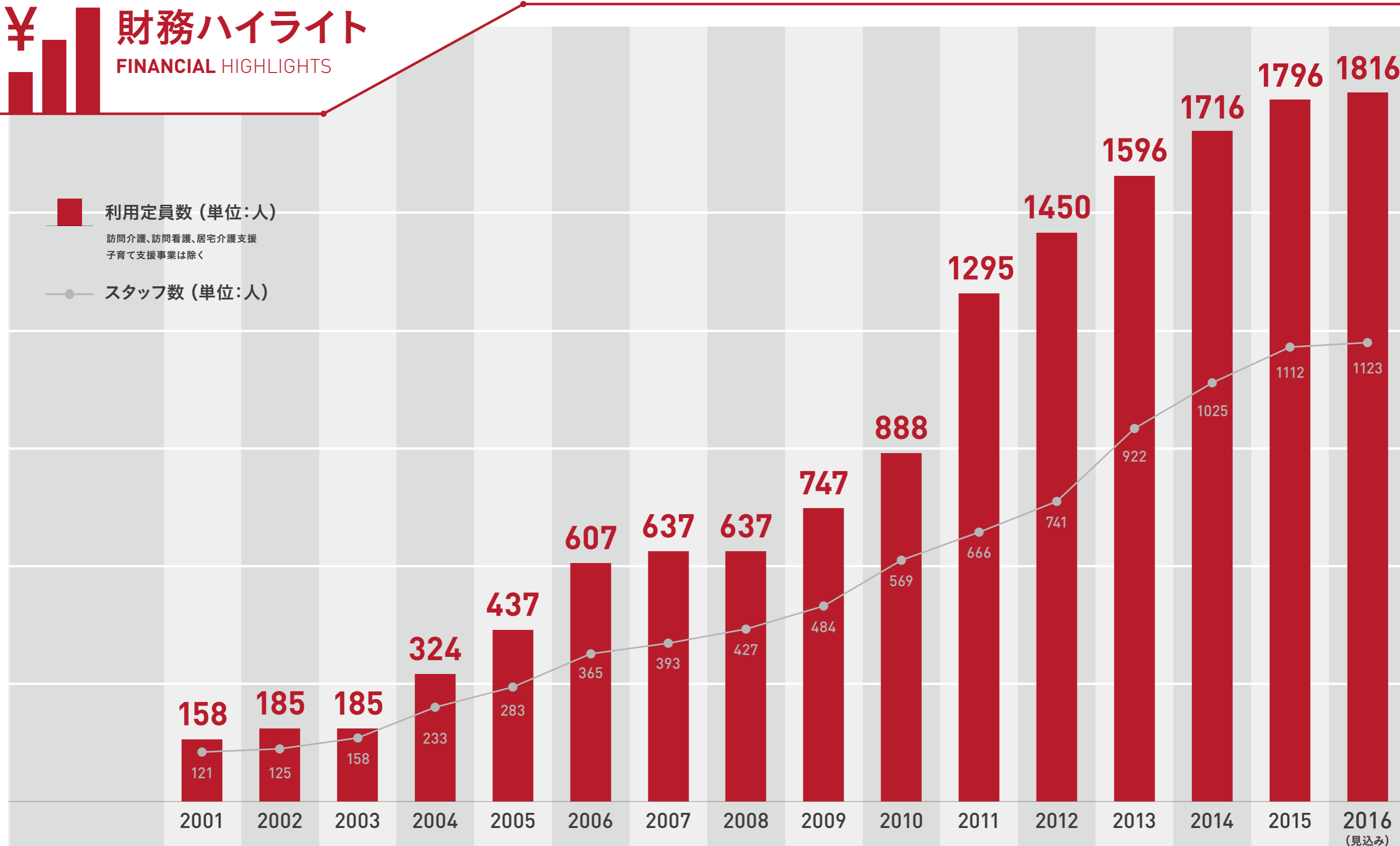
東日本大震災の被災によって東京・埼玉・神奈川に避難をしている方へ、他者とのつながりや、生きがいをもって前向きに生活することに少しでもお力添えできるよう、復興庁が主管する「心の復興」事業を実施しました。

事業は、「園芸教室」や「歌の会」、「絵画教室」、「メイク教室」などの被災者の活力増進を目的としたものを12回開催した他、震災から5年が経過した今、震災が私たちに残したことを忘れないための風化防止事業として、地域の方への展示フォーラムや、小学校や保育園で防災教材冊子を使用した授業を開催しました。



# 財務ハイライト

## FINANCIAL HIGHLIGHTS



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 (見込み)
事業活動収入	686,358	724,141	865,272	1,018,566	1,364,870	1,748,569	2,003,084	2,140,262	2,474,827	2,815,159	3,465,515	3,923,530	4,649,121	4,839,918	5,412,339	5,710,000
事業活動収支差額	82,341	102,442	121,392	15,603	53,460	123,121	210,197	201,767	297,481	147,559	263,723	298,720	52,656	-30,078	254,201	330,000
総資産	2,343,153	2,363,285	2,426,102	2,837,072	3,569,010	3,727,951	3,685,192	4,874,193	4,755,517	5,378,950	5,819,663	8,799,773	7,986,387	8,370,629	8,310,621	8,414,000

(単位:千円)

# FACILITIES

## 施設一覧

今年度、それぞれの施設で働いたスタッフの一部をご紹介します。

## 保育事業

### キディ鶴沼・藤沢 本園/分園



〒251-0031  
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-7-8  
TEL:0466-52-2345 FAX:0466-52-2346  
ACCESS \_\_\_\_\_  
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



〒251-0031  
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-8-16  
TEL:0466-52-2370 FAX:0466-52-2380  
ACCESS \_\_\_\_\_  
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



### キディ二子・川崎



〒213-0002  
神奈川県川崎市高津区二子5-16-16  
TEL:044-829-4567 FAX:044-829-4568  
ACCESS \_\_\_\_\_  
東急田園都市線「高津」駅より徒歩6分  
又はJR南部線「武蔵溝の口」駅より徒歩13分



### 子育てキディ・洋光台



〒235-0045  
神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-2-109  
TEL:045-836-1225 FAX:045-836-1226  
ACCESS \_\_\_\_\_  
JR根岸線「洋光台」駅より徒歩1分、サンモール商店街内



### キディ百合丘・川崎



〒215-0011  
神奈川県川崎市麻生区百合丘1-16サンフレレ百合丘7-201  
TEL:044-322-0510 FAX:044-322-0513  
ACCESS \_\_\_\_\_  
小田急小田原線「百合ヶ丘」駅より徒歩5分



### キディ湘南C-X



〒251-0041  
神奈川県藤沢市辻堂神台1-3-39  
TEL:0466-30-3515 FAX:0466-30-3516  
ACCESS \_\_\_\_\_  
JR東海道線「辻堂」駅より徒歩5分



### キディ古市場保育園



〒212-0052  
神奈川県川崎市幸区古市場2-97-2  
TEL:044-542-1711 FAX:044-542-1712  
ACCESS \_\_\_\_\_  
JR南武線「鹿嶋田」駅より徒歩8分



### キディ石川町・横浜



〒231-0024  
神奈川県横浜市中区吉浜町1-6  
TEL:045-222-0880 FAX:045-222-0885  
ACCESS \_\_\_\_\_  
JR根岸線「石川町」駅北口より徒歩1分



### キディ鈴木町・川崎



〒210-0801  
神奈川県川崎市川崎区鈴木町3-2  
TEL:044-246-0400 FAX:044-246-0401  
ACCESS \_\_\_\_\_  
京浜急行大師線「鈴木町」駅より徒歩2分



### キディ元住吉・川崎



〒211-0034  
神奈川県川崎市中区井田中ノ町2-1  
TEL:044-797-0900 FAX:044-797-0901  
ACCESS \_\_\_\_\_  
東急東横線「元住吉」駅より徒歩8分



特別養護老人ホーム事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014  
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5  
TEL:045-896-1234 FAX:045-896-1235

ACCESS \_\_\_\_\_



JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル神奈中バス「湘南ハイウェイ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分

クロスハート野七里・栄



〒247-0024  
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31  
TEL:045-897-3456 FAX:045-897-3457

ACCESS \_\_\_\_\_



JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「大山南」バス停下車、徒歩8分又はJR根岸線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分

クロスハート幸・川崎



〒212-0007  
神奈川県川崎市幸区河原町1-37  
TEL:044-533-9400 FAX:044-533-9401

ACCESS \_\_\_\_\_



JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分

クロスハート宮前・川崎



〒216-0001  
神奈川県川崎市宮前区野川3240-1  
TEL:044-753-2345 FAX:044-753-2346

ACCESS \_\_\_\_\_



東急田園都市線「鷺沼」駅下車、東急バス「野川台公園前」行「野川台公園前」バス停下車、徒歩5分

クロスハート二階堂・鎌倉



〒248-0002  
神奈川県鎌倉市二階堂267-67  
TEL:0467-61-3345 FAX:0467-61-3346

ACCESS \_\_\_\_\_



JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「大塔宮」行「大塔宮」バス停下車、徒歩10分

クロスハート港南・横浜



〒233-0011  
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-5  
TEL:045-829-2345 FAX:045-829-2346

ACCESS \_\_\_\_\_



京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分

クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028  
神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39  
TEL:0466-35-6622 FAX:0466-35-6633

ACCESS \_\_\_\_\_



小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分  
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス停下車、徒歩1分

グループホーム事業

クロスハート中・横浜



〒231-0056  
神奈川県横浜市中区若葉町3-46-1  
TEL:045-250-3511 FAX:045-261-0500

ACCESS \_\_\_\_\_



京浜急行線「黄金町」駅より徒歩8分  
又はJR根岸線「関内」駅より徒歩10分

クロスハート田谷・栄



〒244-0844  
神奈川県横浜市栄区田谷町1249  
TEL:045-858-3330 FAX:045-858-3331

ACCESS \_\_\_\_\_



JR線「大船」駅下車、西口バスターミナル 神奈中バス「ドリームハイツ」行「立場ターミナル」、「戸塚バスセンター」、「清泉女学院」行「田谷」バス停下車、徒歩3分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033  
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2  
TEL:045-791-7223 FAX:045-791-7224

ACCESS \_\_\_\_\_



京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分

クロスハート南・横浜



〒232-0011  
神奈川県横浜市南区日枝町1-5  
TEL:045-260-0566 FAX:045-260-0567

ACCESS \_\_\_\_\_



京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分  
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

クロスハート円行・藤沢



〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行2-13-1  
TEL:0466-52-4330 FAX:0466-52-4331

ACCESS \_\_\_\_\_



小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩8分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001  
神奈川県鎌倉市十二所937-8  
TEL:0467-53-8961 FAX:0467-53-8964



ACCESS  
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分  
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」  
バス停下車、徒歩5分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001  
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1  
TEL:045-716-6300 FAX:045-716-6329



ACCESS  
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

デイサービス事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014  
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5  
TEL:045-896-1243 FAX:045-896-1235



ACCESS  
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」  
バス停下車、徒歩1分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033  
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2  
TEL:045-791-7266 FAX:045-791-7224



ACCESS  
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分

介護付有料老人ホーム事業

クロスハート湘南台・藤沢



〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行1-1-7  
TEL:0466-41-2234 FAX:0466-41-2235



ACCESS  
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩15分

クロスハート石名坂・藤沢



〒251-0875  
神奈川県藤沢市本藤沢1-10-14  
TEL:0466-84-3033 FAX:0466-84-3031



ACCESS  
小田急江ノ島線「藤沢本町」駅より徒歩10分

クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028  
神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39  
TEL:0466-35-8677 FAX:0466-35-6633



ACCESS  
小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分  
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス停下車

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023  
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17  
TEL:045-750-5678 FAX:045-751-2322



ACCESS  
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

アリストージュ経堂



〒156-0052  
東京都世田谷区経堂3-20-22  
TEL / FAX:03-6413-6115(介護フロア直通)



ACCESS  
小田急小田原線「経堂」駅より徒歩11分  
又は小田急小田原線「千歳船橋」駅より徒歩11分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行2-25-1  
TEL:0466-43-2700 FAX:0466-43-2701



ACCESS  
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001  
神奈川県鎌倉市十二所937-8  
TEL:0467-53-8963 FAX:0467-53-8964



ACCESS  
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分  
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」  
バス停下車、徒歩5分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行2-25-1  
TEL:0466-41-9500 FAX:0466-41-9501



ACCESS  
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

小規模多機能型居宅介護事業・看護小規模多機能型居宅介護事業

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001  
神奈川県鎌倉市十二所937-8  
TEL:0467-53-8962 FAX:0467-53-8964



ACCESS  
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分  
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」  
バス停下車、徒歩5分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001  
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1  
TEL:045-716-6368 FAX:045-716-6329



ACCESS  
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

クロスハート幸・川崎



〒212-0007  
神奈川県川崎市幸区河原町1-37  
TEL:044-533-9410 FAX:044-533-9401



ACCESS  
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場  
から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分

看護小規模多機能型居宅介護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011  
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4  
TEL:045-823-4810 FAX:045-823-4811



ACCESS  
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分

障害者グループホーム事業



クロスハートハイツ  
東蒔田

〒232-0045  
横浜市南区東蒔田町9-28  
TEL:045-325-7727  
FAX:045-325-7726

ACCESS  
横浜市営地下鉄「蒔田」駅より徒歩10分

地域ケアプラザ事業

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023  
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17  
TEL:045-750-5411 FAX:045-751-2322



ACCESS  
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

横浜市野七里地域ケアプラザ



〒247-0024  
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31  
TEL:045-890-5331 FAX:045-890-5332



ACCESS  
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分  
又はJR京浜東北線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分

訪問介護・訪問看護事業

クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜



〒244-0842  
神奈川県横浜市栄区飯島町527-5-8  
TEL:045-342-4455 FAX:045-342-4452



ACCESS  
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 江ノ電バス「戸塚駅」行「飯島上町」バス停下車、徒歩5分

訪問看護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011  
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4  
TEL:045-823-1144 FAX:045-823-4811



ACCESS  
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分

伸こう福祉会本部

本部



〒232-0011  
神奈川県横浜市南区日枝町1-5 4階  
TEL:045-260-0568 FAX:045-260-0570



ACCESS  
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分  
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

介護総合案内所



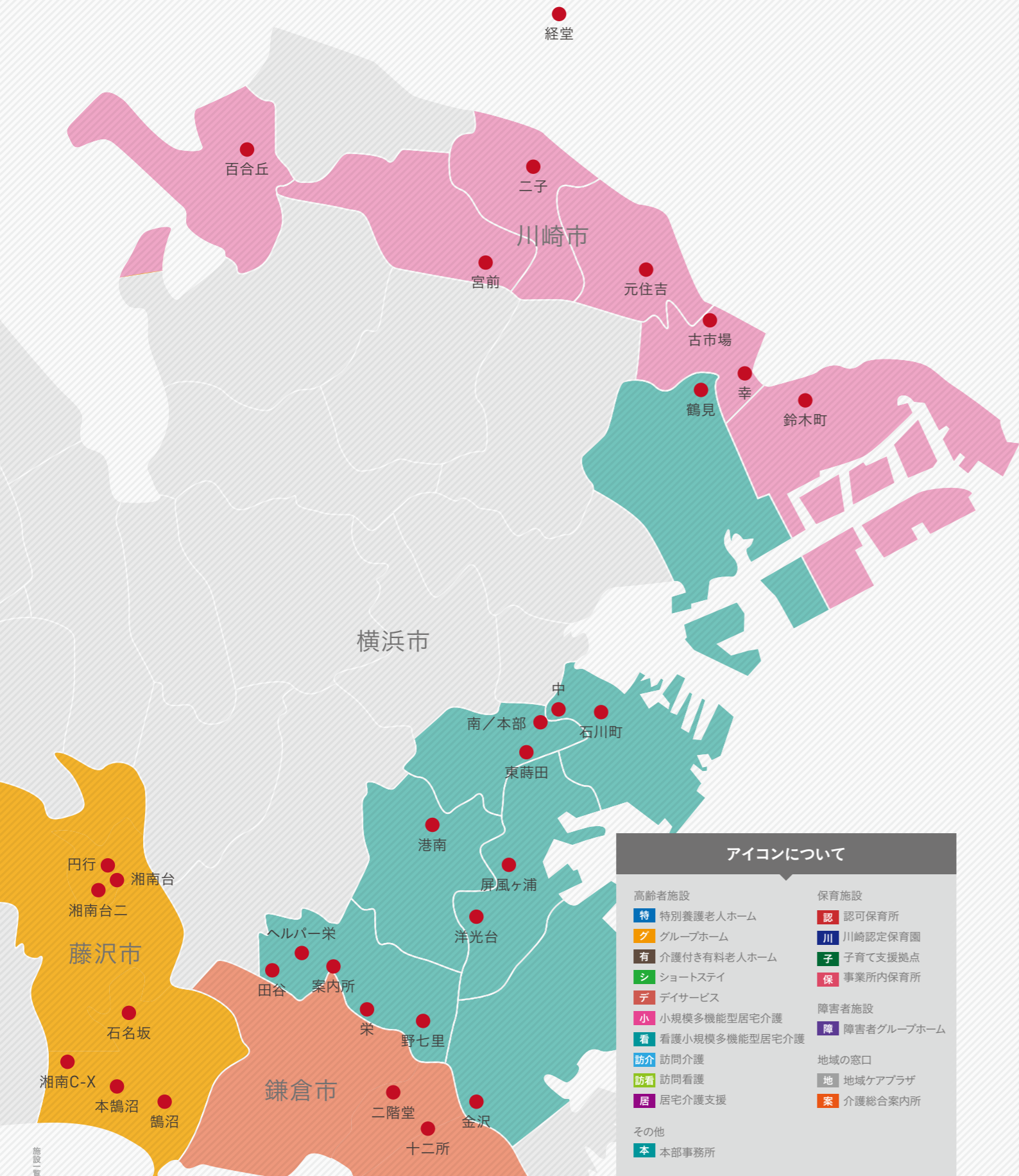
〒247-0014  
横浜市栄区公田町251-6  
TEL:045-890-6116 FAX:045-890-6115



ACCESS  
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 1～4番乗り場(「戸塚駅」行・「平島」行以外)から乗車、  
「鎌倉女子大前」バス停下車、徒歩3分

# MAP

## 伸こう福祉事業所マップ



### アイコンについて

<b>特</b> 特別養護老人ホーム	<b>認</b> 認可保育所
<b>グ</b> グループホーム	<b>川</b> 川崎認定保育園
<b>有</b> 介護付き有料老人ホーム	<b>子</b> 子育て支援拠点
<b>シ</b> ショートステイ	<b>保</b> 事業所内保育所
<b>デ</b> デイサービス	<b>障</b> 障害者グループホーム
<b>小</b> 小規模多機能型居宅介護	<b>地</b> 地域の窓口
<b>看</b> 看護小規模多機能型居宅介護	<b>地</b> 地域ケアプラザ
<b>訪介</b> 訪問介護	<b>案</b> 介護総合案内所
<b>訪看</b> 訪問看護	
<b>居</b> 居宅介護支援	
<b>本</b> 本部事務所	

太字部分を地図上に記載しています。

川崎市		
麻生区	キディ百合丘・川崎	<b>認</b>
宮前区	クロスハート宮前・川崎	<b>グ</b>
高津区	キディ二子・川崎	<b>川</b>
中原区	キディ元住吉・川崎	<b>認</b>
幸区	キディ古市場保育園 クロスハート幸・川崎	<b>特</b> <b>シ</b> <b>小</b> <b>保</b>
川崎区	キディ鈴木町・川崎	<b>認</b>
横浜市		
鶴見区	クロスハート鶴見・横浜	<b>グ</b> <b>小</b>
中区	クロスハート中・横浜 キディ石川町・横浜	<b>グ</b> <b>認</b>
南区	クロスハート南・横浜 本部事務所 クロスハートハイツ東蒔田	<b>グ</b> <b>本</b> <b>障</b>
磯子区	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ 子育てキディ・洋光台	<b>デ</b> <b>居</b> <b>地</b> <b>子</b>
港南区	クロスハート港南・横浜	<b>グ</b> <b>看</b> <b>訪看</b>
栄区	クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜 クロスハート田谷・栄 介護総合案内所 クロスハート栄・横浜 クロスハート野七里・栄 横浜市野七里地域ケアプラザ	<b>訪介</b> <b>グ</b> <b>案</b> <b>特</b> <b>シ</b> <b>デ</b> <b>特</b> <b>シ</b> <b>居</b> <b>地</b>
金沢区	クロスハート金沢・横浜	<b>グ</b> <b>デ</b>
鎌倉市		
	クロスハート二階堂・鎌倉 クロスハート十二所・鎌倉	<b>グ</b> <b>グ</b> <b>デ</b> <b>小</b>
藤沢市		
	クロスハート円行・藤沢 クロスハート湘南台・藤沢 クロスハート湘南台二番館 クロスハート石名坂・藤沢 キディ湘南C-X クロスハート本鶴沼・藤沢 キディ鶴沼・藤沢 本園/分園	<b>グ</b> <b>有</b> <b>有</b> <b>シ</b> <b>デ</b> <b>保</b> <b>有</b> <b>シ</b> <b>認</b> <b>グ</b> <b>デ</b> <b>認</b>
東京都		
世田谷区	アリスタージュ経堂	<b>有</b>

## ご寄付のお願い

伸こう福祉会は、地域の皆さまが安心して日常生活を地域社会において営むことができるように、「第一種社会福祉事業」、「第二種社会福祉事業」を主とした活動を行う社会福祉法人です。皆さまの善意によるご寄付は、更なる福祉サービスの発展、充実に向けた活動への力強い後押しとなります。伸こう福祉会の理念・事業方針・事業計画等に共感いただける方からの幅広いご支援をお願いしております。

### ご寄付の方法

お近くの事業所又は本部事務所で受け付けております。スタッフにお声がけいただくか、お電話にてお問合せ下さい。

### 遺贈によるご寄付

「遺贈」とは、遺言を残し自分の財産を特定の人に分け与えることです。受取人として、「社会福祉法人伸こう福祉会」とご指定いただくことで、大切な方やご自身の遺産を地域福祉の発展に役立てることが可能となります。

### お振込先

金融機関 横浜銀行 茅ヶ崎支店(631)  
口座種別 普通  
口座番号 1663189  
名義人 (フク)シンコウフクシカイ

### ご寄付の手続きに関する問い合わせ先

社会福祉法人伸こう福祉会 経理担当  
〒232-0011 横浜市南区日枝町1-5 4階  
伸こう福祉会本部事務所  
TEL: 045-260-0568  
FAX: 045-260-0570



## 社会福祉法人伸こう福祉会



報告対象期間 2016年4月から2017年3月  
発行 2017年4月  
発行責任者 足立 聖子

### 本誌へのお問い合わせ

伸こう福祉会 本部事務所  
〒232-0011 神奈川県横浜市南区日枝町1-5 4階  
TEL: 045-260-0568 FAX: 045-260-0570  
<http://www.shinkoufukushikai.com>